

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

## 最上町の森林を「伐って、使って、植える」 —経営管理実施権の選定委員会—



1月6日（水）最上町中央公民館にて、「第3回最上町経営管理実施権の設定を受ける民間事業者の選定委員会」が、当支署長を含む6名の委員を参集して開催されました。

はじめに同町第1号となる本城向居山地区での経営管理実施権配分計画による間伐事業について、2年度の実施状況が報告されました。

続いて同町第2号となる月楯蔵ノ沢地区にて経営管理実施権を設定する候補の森林について、設定を受ける民間事業者の選定を行いました。公募に応じた民間事業者の中から、委員による慎重な審議の結果、株式会社結城林業が選定されました。

本制度と事業は最上町内の森林所有者の同意を得て、町が所有者に代わって林業経営者に森林管理を委ね、森林資源を「伐って、使って、植える」という形で国土保全や循環利用等を進める取り組みです。

写真上：議長あいさつ 下：事務局の説明

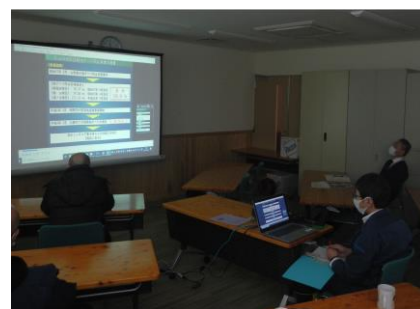
## 独自の研究成果を発表しました —令和2年度森林・林業技術交流発表会—



オンラインでの発表を聴講



農林大佐藤さん(左手前)の質疑応答



当支署職員(手前)の発表

2月2日（火）・3日（水）の2日間、副題の発表会が開催されました。新型コロナ対策のため主会場の東北森林管理局（秋田市）と各署等をオンラインで結んで34課題の発表・聴講を実施しました。当支署の会議室からは次の2課題を発表しました。

- ・山形県立農林大学校 林業経営学科2学年 佐藤羅威貴さん

「広葉樹の製材用材としての活用に関する考察」【森林技術部門の奨励賞を受賞】

- ・当支署 山田悠貴「超深深度の集水井工における効率的な点検手法の検証」

また、佐藤さんを含む同校の学生と教授13名が来署し、学校・県・市・研究開発法人・署等の発表課題と、2つの特別講演を、当支署職員とともに熱心に聴講しました。

ICT(情報通信技術)を活用した新しい取り組み、民国が連携した森林整備や森林被害防除、林業成長産業化のための低コスト化と効率化、安全安心のための治山事業等、どれも諸問題に真摯に向き合い、わかりやすく工夫を凝らした内容であり、おおいに参考になる発表ばかりでした。

今後も業務を進めていく中で、いろいろな課題を掘り起こし、関係機関が連携して諸問題の解決と林業等の発展に寄与することが求められます。当支署でも積極的に取り組んで参ります。



ウメ

## 山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

